

1. 目 的

円安やウクライナ情勢等の国際情勢に端を発する資源価格上昇に伴う物価高の影響への対策として、経済的に困窮した学生等を支援する大学等に対して、当該支援に係る事業費の一部（10分の9以内）の額を助成し、もって各大学等が独自に支援を実施する取組みを推進することを目的として実施する。

2. 概 要

（1）助成規模 約18億円

（従来から受け入れてきた「学生支援寄附金」を原資とする。）

（2）実施時期

2022年12月～2023年9月

（3）対象の学校種別

大学、大学院、短期大学、高等専門学校（4・5年生）、専修学校専門課程、日本語教育機関、外国大学日本校

（4）対象事業

「食費」、「修学に係る消耗品費」等の費用に係る支援事業：学生生活を送るための食費や修学に必要な消耗品（文房具・教材等）等の費用に係る支援

※ 食料品や教科書、文房具等の現物支給のほか、食料品や修学用品を買うための金券類、学内の食堂や売店で使用できるチケット等の支給等が対象

（5）助成額

1校あたり100万円以下（支援事業を実施するために必要な経費の10分の9以内）

（6）学校から学生への助成方法

金銭又はこれに類するもの、現物支給による経済的支援であること

（学生一人あたりに対する支援額は1万円を上限）

3. 支給実績

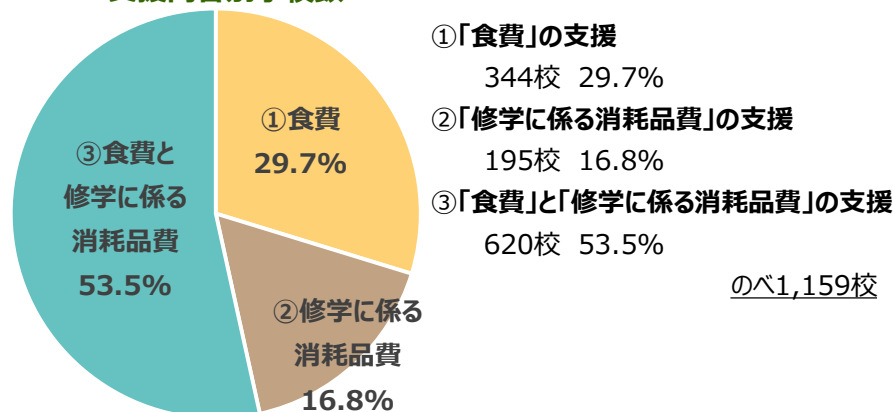
対象となる学校4,496校のうち、1,159校に助成した。

（内訳）大学 332校、短期大学 103校、高等専門学校 13校、
専修学校専門課程 501校、日本語教育機関 209校、外国大学日本校 1校

助成金による学生等への支給実績は **約8.4億円**

（参考）学校からの申請額計：約8.7億円

支援内容別学校数



4. 実施結果

※学校における主な取り組みの例

[食費に対する支援]

①「食堂支援」による支援

ex)「特別価格の食事」「100円定食」「朝食（無料/100円朝食）」の提供
「学生食堂の食券」の支給

②「現金、食券配付」による支援

ex)「食料品を買うための現金」「QUOカード」「お米券」「ジェフグルメカード」
「スーパーマーケットの商品券」「学校近隣レストランの食券」等の配布

③「現物支給」による支援

ex)「米」「カップラーメン」「レトルト食品」「インスタント食品」「乾麺」「野菜」
「缶詰」「パックご飯」「調味料」等の現物支給、「炊き出し」による支給



②「現金、食券配付」による支援例

ex)新見公立大学 全学生に対しQUOカード2000円給付
学長と学生による贈呈式

[修学に係る消耗品費に対する支援]

④「現金、金券配付」による支援

ex)「教科書、修学用品購入のための現金」
「学校購買、近隣商店で使える商品券」「QUOカード」「図書カード」等の配布

⑤「現物支給」による支援

ex)「教科書」「問題集」「文房具」「参考書」「タブレット端末」
「実習のためのヘアカットマネキン」「実習に係る衣装素材」の支給



③「現物支給」による支援例

ex)香川大学 レトルト食品7200食分を
配布した際に作成いただいたポスター

5. 支援を受けた学生等からの声

- 電気代なども上がり、今までのようにお米が買えなくなったので、支援してもらえて、非常に助かりました。
- 食料品だけでなく、トイレトーパーと洗剤も支援してもらえて、嬉しかったです。
- 買いたい本があったので助かります。
- 経済的に厳しい状況にあるため、100円で夕食を食われてありがたいです。
- アルバイトの時間が少なく、収入が少ないので、教材をいただいて、とても助かりました。
- 物価高がどこまで続くか不安な中で、ご支援いただき本当にありがたいです。
- 国家試験の参考書など、必要な教材を購入することができました。ありがとうございます。
- 何もかも値上げ続きで食費を削る生活だったので本当に助かりました。
- 学業を優先するためアルバイトができず家計も苦しかったので、支援をいただき嬉しかったです。
- 皆さんからの寄附金でいただいたものなので、大切にに使わせていただきます。
- 1年生で上京したばかりで、いろいろ購入する必要があり、今回の支援は非常に助かりました。



②「現金、食券配布」による支援例
ex)佐久大学 全在学生クオカード
3,000円分配布

他にも食費、教科書関連の
感謝の声をいただきました。
助成事業を活用いただき
誠にありがとうございました。



③「現物支給」による支援例
ex)福島日本語学院
お米30Kgもしくはクオカードを支給